

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年 3月31日
事業所名	グループホーム チアフル 笑明かり
事業所番号	2392200081
記入者名	職名 ユニットリーダー 氏名 野々垣 利昭
連絡先電話番号	0586-51-9082

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に沿ってその人らしく生活をしていただくようポートしている。生きるって素敵と思えるように自分らしく、自分の事は出来るだけしていただき自分でやれる喜び、達成感を感じていただけるように努めている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に一度ミーティングを開き、理念を復しようしている。毎月のミーティングにおいて資料の一番に初めに掲げているが、日々意識して仕事をしているか疑問である。	○ 常に頭におき利用者さまに対して敬う気持ちで取組んでいきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	月一回チアフル新聞を配布し日々の生活を報告している。地域の方、民生委員の方々を運営推進会議に参加していただき報告をしている。夏祭り、運動会などを行っている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所への散歩、買い物などで近隣の方々に会ったら、利用者さんと笑顔で挨拶している。	○ イベントを開催し、積極的に参加していただくように努める。積極的に挨拶するように心がける。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭り、運動会などの行事では地域の方、老人会の方達に参加して頂くように努めている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	改善点を見つけ出しケアの質の向上に取り組むように努めたい。
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	市町村との連携について(どのように、何をしているか?)を分かるように話していただきたい。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	まだ分からない職員も見えるので研修に参加して理解するように努めていきたい。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者が行っている。施設内見学や説明を行い、理解、納得して頂いている。契約内容を読んで頂き、ご家族から疑問点、不安な事などを聞きだしその事について十分説明して理解、納得していただいている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>生活の中で利用者さんの訴えや、ご自分で意思表示が困難な場合は職員より声かけしたり、表情を読み取るように心がけているが十分に不満や意見など聞きだせない時もある。利用者さんの、不満、苦情はリーダーに報告しその都度対応に努めている。</p>	<p>○</p> <p>普段の生活の中で利用者さんの表情や、訴えを見逃さず記録に残し今後のケアにつなげて行きたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時や、チアフル新聞にて月1回ホーム内での生活の様子、状況を報告している。金銭管理は、各個人事の出納長があり月毎にご家族様に確認して印鑑を頂いている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関、受け付けに意見箱を設けたり、面会時の際に利用者さんの近況を報告してご家族様の意見を伺っている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>リーダーミーティングを月1回行っている。又月1回各ユニットごとにミーティングがあり、管理者も出席し意見など聞く機会を設けている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>外出、行事ごと、人員が必要とするときは、職員が確保出来るように勤務調整している。管理者は状況に合わせて補佐を行っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者さんの不安を取り除くため必ず慣れた職員が居る様に心がけている。新しい職員が見えた時は必ず他の職員が行動を共にして不安にならないように最小限に努めている。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内に 於いて、マナー接遇研修、各ユニットごとの会議、リーダー会議など行い情報交換等行えるよう、毎月計画を立てている。内外への研修も今後徐々に計画をしている。研修の声掛けも率先して行い研修後はレポート提出し職員全員に把握していただくように取り組んでいる。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設の行う行事などに参加し交流をする機会を設けている。	○	民間の小規模多機能が少ない為交流、情報が無いので研修の機会があれば参加して情報交換をしていく。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	各ユニットリーダーを設け、職員の調整を行えるようにしたり、リーダーや管理者へ悩みごとなど相談している。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員に声かけして各個人の向上心を持って良い環境で働けるように取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>管理者が主に相談を聴き利用に至るまでのサポートを行っている。相談がある時はメモを取りその都度ご本人様とも面会しよく話を聴くように努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>管理者との相談が主で、入居前の見学の際、相談事など聞き話し合いを行い、入居後は管理者、関わる職員が要望、相談など聞き一緒に考えるように努めている。家族から不安、悩みを取り除くように納得がいくまで話を聴くように努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>今現状を把握し、何が必要なサービスかを調べ、ご家族様と良く相談しどのようにしていくか計画を立てて利用をしていただいている。</p>	○ 今何が必要か見極め職員一人一人が行動ができるように努めてたい。
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご本人様が安心して出来るように今まで慣れ親しんだ家具、ベットなどを持参して頂き、ご本人様のペースに合わせて生活していただくように努めている。不安などある場合は、ご家族様に相談しながら対応するように心がけている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事のメニュー作りや、料理では利用者さんから、野菜の切り方、味見など教わり一緒に作ったり、時には怒られたりと支え合っている。出来る事はして頂き会話の中でも何に興味を持っているかを聞き取り、見極め意欲を引き出し共に生活しながら信頼関係を築いていくように努めている。</p>	○ 利用者さんの中には遠慮がちでご自分の思いを伝える事が難しい方も見えるので職員からご自分の意思が言えるように上手く引き出せるように努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんとの間で出来ている職員も見えるが出来てない職員も見える。些細な疑問でも連絡を取り合い情報交換に努めている。調理面では職員の切り方を見て「それは、こうするのよ！」など優しく教えていただいたり、昔の話を聞き、笑ったり、悲しんだりして支えあっている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様と利用者さんの関係を分かった上で面会時などに疑問に思った事を尋ね、職員同士話し合い、良い関係が築けるように支援している。利用者さんの日常の出来事を記入しご本人様とご家族様との関係の理解に努めより良い関係ができるように支援している。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	喫茶店は、顔なじみが出来てモーニングなどに使用させていただいているが、今まで利用してきた場所では疎遠となっている。ご家族、親戚、友達などの交流が途切れないように支援に努めている。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う利用者様同士や男性も見えるため、テーブルの席に配慮している。買い物好きな利用者さん料理が好きな利用者さん、その他家事などをそれぞれ協力し支えあっている。必ず職員が間に入り会話をしたりし孤立しないように努めている。	○	普段余りお話されない利用者さん j、居室で過ごされる事が多い利用者さんに対して無理のない程度で関われる環境を作っていけるように取り組みたい。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された利用者さんに対して連絡は取っていないが、退所時には必ず「いつでも尋ねてきてください」と声をかけるように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>出来る限りご本人の希望、訴えを受け入れ行動に副える様に努めている。が利用者さん自身自己決定が困難な場合はご家族様、ご本人様と相談し意向に副えるように取り組んでいるが時間に追われ余裕がない時は職員本位になっている時もある。</p>	○	<p>利用者さんの言われた事、表情、気持ちなどを記録に残しなるべく、利用者さんとの関わりを増やせるように努めていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時ご本人様の生活歴、馴染んだ暮らしの聞き取り把握し、その他細かい事等面会や電話などで聞き把握するように努めているがホームでの生活に生かされているか疑問である。ご家族様から生活歴など聞き記録に記載するように心がけている。</p>	○	<p>利用者様一人一人が有意義な生活を毎日過ごしていただくよう考えていくように心がける。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一日の過ごし方は記載している。関わりが少ない方、状態の変化がない時は記録の内容が簡潔に終わってしまう時がある。心身状態の把握があまりない事がある。</p>	○	<p>利用者さんとの関わりを増やし、心身の状態の把握を常に頭に置き、一人一人に合った過ごし方が出来る様にケアの統一が出来る様に努めたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様が言われた言葉、希望など現状として記載し、現在の状況、状態をふまえた上でご家族様の要望、希望を聞きながら介護計画を作成している。ケアマネジャー、職員、利用者様、ご家族様との話し合いで介護計画を作成している。</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行っている。期間前に変化があった場合は話し合いを行い現状にあった計画を作成している。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などは個々に記録し職員の間で情報の共有は出来ているが、その記録が生かされているかは疑問。記録の書き方にもばらつきがあり、簡潔に終わっていたり、抜けている事もある。	○	日々の様子や気づいた事を全員で共有把握し、ケアにつなげて行くように努めたい。記録の書き方の見直しにも取組みたい。記録に残す事の大切さを職員全員に伝えていくように努めたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人の希望、ご家族様の要望に沿って家に外泊されたり、外出されたりしている。利用者様の様子、体調が思わしくない時はご家族様に報告するように取り組んでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月ボランティアの方々（習字、手芸）に来ていただいている。消防署の方のご協力で防災訓練も行っている。民生委員、ボランティアの方達の訪問があったり、イベントの際はボランティアを募っている。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	専門員と相談し、ご利用者に合ったサービスを利用していただくように支援をしている。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	近くの地域包括支援センターに運営推進会議に参加して頂いている。管理者、リーダーが会議に参加して話し合いを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回かかりつけ医がホームへ来所して下さる。ご家族様の要望を聞き継続受診が必要な方はご家族様のご協力を得たり必要に応じて受診介助も行っている。緊急な時はご家族様に了解を得て提携医を得ている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師と連携し相談したり、治療を受けられるように支援している。治療の時は職員が同行し状況を報告している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ユニットに看護職員が見える為体調の変化、異変時にはすぐに連絡を取りその都度対応出来る様な体制になっている。介護サマリーを使用して情報提供の交換に活用している。	○	各利用者さんの健康管理や医療受診を行っていくように努めたい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院の際には、利用者さんの情報を提供し、入院中の様子など病院関係者と相談するよう取組んでいる。連携医から紹介状を書いて頂、情報を説明し話し合っって今後の対応、方針についてアドバイスを頂いている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期にあたる利用者様のご家族と相談してかかりつけ医と話し合いをし全員で共有するように努めている。事業所が何処までできるかを把握しかかりつけ医、他の医療機関と協力できるように支援している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後重度化、終末期にある利用者さまについて職員同士、ご家族様と話し合いをし施設内でケアができるかの検討や準備をしている。ご家族、提携医と協力して支援が行えるかどうか話し合えるよう努めていきたい。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<p>起床時や朝食後等に促して行きたいが、拒まれる利用者さんに関しては無理せず気分の良い時に行っていただけるように努める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>料理を手伝っていただく利用様が偏らないように気をつけその人の能力に合わせて行うように努めたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>排泄パターンで特に排便のパターンを把握するようにする。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>各利用様が自己のペースにてくつろいで入浴できるように支援したい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>散歩、ランチ、ドライブなど利用者様に張り合いのある生活をしていただくように支援している。手芸、習字など各利用者の好きな事を聞きながら生活の中で楽しみ、喜びのある生活が出来る様に支援している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人では金銭管理はしていないが買い物など行かれる時は職員が側にいていくらお金が必要か尋ねて出している。利用者さんにより千円程度お金を持たれてる方も見えるがほとんどは事務所が管理している。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩、喫茶店、ピクニックなど出かけるように努めている。週1回はモーニングに出かけている。	○	買い物へ出かける時はメンバーが決まっているので、その時に応じてなるべく他の利用者さんも行けるように支援したい。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に合わせた外出、(初詣)など職員が計画し、利用者様全員を出かけられる機会を多く作っている。その他月1回遠足を計画し色々な場所へ出かけられるように支援している。	○	ご家族様にも参加していただけるように努めたい。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者様の希望があれば電話を使用している。利用者様が年賀状を出されたり、電話がすぐかけれるように支援している。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来所時は職員が日頃の利用者様の様子を報告している。居室でゆっくり話をされたり。外出されたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体束縛の理解は全職員が理解しているかは疑問である。日中鍵をかけない様に心がけているが、職員によりばらつきがある。	○	何故鍵をかけなければいけないのか(必要性)を各職員が考える必要がある。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	今の段階では、中々開ける事が出来ない。ミーティングで朝から夕にかけ開ける事が決まった。利用者様の状態で鍵がかかっている。現在の状況では、鍵をかけないケアはむずかしい。	○	その日により、利用者様の状態は変わってくるが、安定している時間帯を把握し、開放できる時間を少しずつ増やしてきたい。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は業務に追われすべての利用者様の様子がかめていない時もあるが、状況に応じて、他の職員へ報告し、対応出来るように努めている。	○	各職員一人一人が利用者様への意識を高め、互いに話し合い把握できるように努める・
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必ず危険な物はクローゼットの中に保管している。現時点では今の状況で過ごせているので無くす事はないが、カミソリ、刃物など怪我をしそうな物は目につく所には置かず、職員が保管している、		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒については事故報告書を作成し防止策を考えまた、怪我、転倒の危険がある場合は、ヒアリングにつけミーティングで対策を考えている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署に依頼し救命講習を行った。応急手当や初期対応の訓練も行っている。	○	急変時にあわてる事のないように、勉強会、講習に参加したい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行う予定だが、現段階では行える状況ではない。	○	精神的不安定の利用者様がお見えになるので安定期に実施するように心みる。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒の危険性についてミーティングで話し合いを行ったり、対策を考えたりしているが、まだ他にもリスクは沢山有るが対応しきれない事もある。	○	普段の生活の中で、ひそむリスクを意識し、ケアを統一できるように努めてたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ノートに記録を残し、職員同士申し送りなど行い、情報を共有しているが、全員に伝わっていない事や、対応しきれない時がある。朝バイタルを測り、異常が見られる場合は、病院受診を行っている。	○	職員一人一人が利用者様の異常に気づき、対応が出来る様に考える。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬の情報は常に確認できるようになっているが、薬についての知識などは浅い。薬には日付を入れて確認できるようになっている。	○	薬に関しての理解や、知識の勉強会を行いたい。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝ヨーグルトの提供している、便秘と思われる利用者様には、出やすくするお茶を飲んでいただいたりしている。便秘予防として食物繊維や、身体を動かすように、努めている。	○	便の状況を把握し便秘の利用者様が便秘にならないように予防と対応に努めたい。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自立されている利用者様は、自己にて口腔ケアされているが、口腔状態の確認は出来ていないように思える。利用者様によっては清潔の保持が出来ていない方も見える。	○	各利用者様の口腔状態と口腔ケアを定着させたい。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分量を把握し水分不足のないよう記録している。食事の量は利用者様の状況に合わせて調節している。入浴後は必ず水分を摂取していただくようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の利用者様は数名いられるが現在は活動されていない為洗濯物など特別取り組めはない。排泄時など扱う際にはゴム手袋を使用している。MRSAの対策には、食器などアルコール消毒を行うようにしている。	○	感染症について勉強会で全職員の意識や知識を高めたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板は毎日除菌を行っている。消毒表があり行ったらチェックするようになっている。	○	定期的に食器、調理用具などの消毒を行い衛生管理を行う。使用期限の過ぎそうな食材の処理を早めに使い切るようにする。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中玄関は開いており玄関には、ボードを用意し、ホームでの活動内容を書いた新聞を掲示している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関のリビングには花を置き、日差しの強い時にはカーテンを使用している。廊下には遠足の時の写真や、利用者様が書かれた習字などが飾ってある。季節感が出るように飾り物を置くように努めている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各個人の居室が「あり、リビングではソファの設置など、一人一人が思いの場所でくつろいでいられる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベット、タンスなどは、個人で用意された物を使用されている。個人さはある。転倒、怪我などの危険性の高い利用者様には最小現に置いていただくようにしている。(ご家族様と相談し了解を得ている。)		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に空調設備があり、利用者様一人一人の体調にあわせて室温調整、換気が出来る様にその状況に合わせて行っている。朝の掃除の時は各居室、リビングなど窓を開けて行っている。	○	日中は1～2回窓を開けて換気にし空気の入替えを行うようにしている。空気が乾燥している時は加湿器を使用し風邪などひかない様に努めている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、バリアフリーとなっており手すりも所々に設置してある。玄関には楽に靴が履けるようにいすが設置しており、キッチンも広く、戸棚も手が届くように使いやすくなっている。環境設備で適確に実施し安全に配慮している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には表札が設置しトイレの場所も分かるように「トイレ」と分かるように設置してある。ご利用者様一人一人の残存機能を活かした支援を行う事でADLの維持を持続させるように努める。出来なくてもご本人様が落ち込まないように声掛けをするように支援している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りでは、夏祭りを行い、ご利用者さまが楽しむ事が出来る。施設内ではバルコニー、ウッドデッキが設置してあり、天気の良いときは、その場所でお茶を飲んだり、日向ぼっこをしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 数日に1回程度 <input type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・出来るだけ多く外出して、気分転換をはかるように努めている。・自分で出来ることはしていただき、出来る喜び、実感を感じて頂く様に努めている。